

映像メディアの世界における女性の活躍

Women's Active Involvement in the World of Film and Media

主催：内閣府
男女共同参画推進連携会議
明治大学情報コミュニケーション学部ジェンダーセンター
協力：東京国際女性映画祭実行委員会
アジア女性映画祭ネットワーク (NAWFF)
後援：千代田区

2011年10月24日(月), 25日(火) 18:00 ~ 21:00
明治大学駿河台キャンパス リバティホール



アジアの女性映画人のいま：新たなネットワーク構築

Women's Networking in Film and Media in Asia: Now and the Future

●24日(月) 17:40 開場

司会進行：ジェンダーセンター副センター長 牛尾奈緒美

18:00 趣旨説明 ジェンダーセンター長 吉田恵子

18:05 開会挨拶 情報コミュニケーション学部長 細野はるみ

18:10 基調講演 『アジアにおける女性映画祭のネットワーキングについて』〈日本語通訳あり〉

イ・ヘギョン (ソウル国際女性映画祭代表)

18:40 休憩

18:50 パネルディスカッション『女性映画人の将来』〈日本語通訳あり〉

日本、韓国、台湾、インドの女性映画人によるシンポジウム。

日本を含むアジアで、女性が映画を製作・上映等を行う際の困難さ、その壁をいかに乗り越え、活躍してきたかを、各国の状況を述べ合う一方、欧米諸国の場合も例にあげ、比較・分析を行いながら今後の展望を探る。

司会進行 小藤田千栄子 (映画評論家)

パネリスト イ・ヘギョン (ソウル国際女性映画祭代表)

ファン・ミョジョ (ソウル国際女性映画祭実行委員)

チェン・ウェイ・スー (台湾女性映像学会女性映展代表)

ラティ・ジャファール (インド/チェンナイ・サムスン国際女性映画祭代表)

内田ひろ子 (東京国際女性映画祭事務局長)

20:30 質疑応答

21:00 閉会

映画上映

10月25日(火) 18:10~

『女性監督にカンパイ!』

近年、世界的に女性監督の活躍の場が広がっている。過酷な映画製作の現場で女性たちはどんな思いで仕事をしているのか。私は、アジアと欧米の12人の女性監督たちに、同業者として質問した。初監督の時、修行時代、撮影現場のこと、資金集め、シナリオ書き、結婚、子育て、観客との出会いなど、多彩な話題が飛び出した。国や年代は違っても、その心意気、苦労、叡智には共通したものがあつた。28歳から78歳までの本音トークである。(山崎博子監督)



山崎博子 やまざきひろこ

1951年生まれ。関西大学独文科卒業。会社勤務の後、28才で渡米。UCLA大学院映画学部を卒業。「ジャクスタ」でロサンジェルス女性映画祭最優秀短編映画賞を受賞。角川春樹監督、蔵原性繕監督の北米ロケのスタッフとして活躍。帰国後、「ぼくらの七日間戦争2」を監督・脚本。日本映画監督協会で初の女性理事を務めた。他に「夕暮れ時」「いのちの生まれる時、ブラジルにて」「タラウマラの村々にて」などがある。



メディアで拓いた女性のキャリア：映画とテレビ

Women's Career in the Media, Centering on Film and Television

●25日(火) 17:40 開場

司会進行：ジェンダーセンター副センター長 牛尾奈緒美

18:00 趣旨説明 ジェンダーセンター長 吉田恵子

18:05 開会挨拶 情報コミュニケーション学部長 細野はるみ

18:10 映画上映 『女性監督にカンパイ!』(山崎博子監督)

19:40 休憩

19:50 パネルディスカッション『経験から語る映画界・テレビ界の女性』

日本の映画およびテレビというメディアにおける女性の活動の困難さ、その壁をいかに乗り越え、活躍してきたのか、また近年の女性をとりまくメディアの状況についても話し合う。質疑応答での、当事者と一般参加者による議論を通じて、女性が映画界やテレビ界でより能力を発揮できるための新しい方向性を探りたい。

司会進行 国広陽子 (東京女子大学現代教養学部教授)

パネリスト 山崎博子 (映画監督), 我謝京子 (ドキュメンタリー映画監督・ライター記者)

20:50 質疑応答

21:00 閉会

パネルディスカッション

10月25日(火) 19:40~

『経験から語る映画界・テレビ界の女性』



国広陽子 くひろようこ

1948年東京生まれ。東京女子大学現代教養学部教授。慶應義塾大学経済学部卒業後、NHKに入局、教育、芸能番組のディレクターを務める。退職後、慶應義塾大学大学院にて博士(社会学)号取得。武蔵大学教授を経て現職。女性たちの政治参加や社会的活動、メディアとジェンダーについての研究が多い。著書に『主婦とジェンダー』(尚学社)『地域社会における女性と政治』(東海大学出版会)等。横浜市男女共同参画審議会会長。

我謝京子 がしやきようこ

ドキュメンタリー映画監督 ライター記者

1963年東京都生まれ。1981年にAFSでオレゴン州レドモンドに留学、85年には上智大学在学中にマサチューセッツ州立アマースト校に国費留学した。87年、上智大学外国語学部イスパニア語学科を卒業。同年、テレビ東京に入社し報道記者となる。フルブライドジャーナリストとしてミシガン大学に留学し、92年にジャーナリズムフェロープログラムを終了した。93年に帰国してからはテレビ東京に報道記者として復帰。その後は、経済番組や自然出産・少子長命社会のドキュメンタリーの製作、ペルー大使公邸人質事件や神戸大震災の復興などを取材。2001年4月に母子単身赴任で、ライター社のテレビレポーター&プロデューサーとして赴任。同年9月11日、米同時多発攻撃事件で被災する。04年、フォーダム大学教育大学院を卒業。05年から映画監督としてドキュメンタリー映画『母の道、娘の選択』の制作に着手する。ニューヨークで生きる道を選んだ日本女性の生き方を克明に収めた同作品は09年に完成し、第5回マイアミ国際女性映画祭、第22回東京国際女性映画祭など数多くの映画祭で上映された。また、同作品は2010年度ニューヨーク国際インディペンデント映画祭において「観客賞」と「最優秀文化ドキュメンタリー賞」をダブル受賞。これは、日本の女性監督史上、初の2冠達成である。さらにニューヨーク女性記者会からはフロントページ賞を受賞した。現在、ライター唯一の日本人女性放送記者として担当している番組の「ライター・マーケット・レポート」と「ライター・ビジネス・ウィークリー」は、ライターのウェブサイトとTBS系の24時間チャンネル「ニュースパード」で放送されている。



※両日ともに、基調講演・パネルディスカッションのテーマ・講師等が変わる場合があります。